

**第2期ロジスティクス環境会議**  
**グリーンサプライチェーン推進委員会 第10回源流管理分科会 議事録**

I. 日 時：2007年12月6日（木） 16：00～18：05

II. 場 所：東京・港区 （社）日本ロジスティクスシステム協会 会議室

III. 出席者：8名

IV. 内 容：

1) チェックリストについて

V. 開 会

事務局より開会が宣された後、以下のとおり議事がすすめられた。

VI. 議 事

1) チェックリストについて

事務局より資料1に基づき、第9回分科会以降の経過について説明がなされた後、資料2-1、2-2、2-3に基づき、チェックリストの評価軸項目について検討が行われた。主な意見は以下のとおりである。

**【主な意見】**

(チェック項目 73)

幹 事：環境負荷低減につながることは理解できるが、それをチェック項目内で明確に記載する必要があるのではないか。

事務局：現状、すべての項目で必ずしも環境負荷低減といった表現を加えているわけではない。

委 員：回答者からすると、“動線の確認”と“作業負荷にあわせた人員配置”と二つの内容が1項目で記載されており、回答しづらいと思われる。

委 員：“動線の確認”はチェック項目 75 にも含まれるため、人員配置に絞った形にしてもよいのではないかと考える。

幹 事：稼働時間短縮により電気使用量等が少なくなることから、その内容で整理してはどうか。

幹 事：「効率的な人員配置と機器運用により、稼働時間の短縮を実現している」といった内容でよいのではないかと考える。

(チェック項目 74)

委 員：“物流機器の使用の制限”がわかりにくい。

委 員：例えば、作業していないときでもソーターの電源が入っていることがあり、環境負荷増につながるケースがあり、それらを想定している。

委 員：“適切な能力の機器”の意味を教えてください。

幹 事：ある加工食品卸のセンターでは、貨物重量にあわせてフォークリフトを使い分けていて、そのようなことを想定している。

委 員：“使用”ではなく、“選択”のほうがよいと考える。

委 員：現在のチェック項目では、どちらか片方だけ実施した場合の回答が難しいことから、“環境負荷低減を考慮して～”としたほうがわかりやすいと考える。

(チェック項目 75)

委 員：定期的かどうかではなく、常に適正なレイアウトかどうかの方が重要ではないかと考える。

委 員：チェック項目 80にある“在庫ABCを用いて”といったことによるレイアウト変更も考えられるのではないかと考える。

委員：“在庫レイアウト”も含めるべきではないか。

(チェック項目 76)

委員：分類は、「②施設設計、レイアウト」となっているが、時間的な分離を入れてしまうと、①の運用も含まれてしまう。

事務局：分類をなくしてしまうのも一案である。

幹事：①は機器の部分、②は機器以外ということで、分類は残したほうがよいと考える。

委員：評価軸にあわせて、チェック項目に“タイムスケジュールによる工夫”といったことを加えてはどうか。

(チェック項目 80)

委員：ラック等も①の機器に含まれるのではないか。

幹事：①の機器は動力源が必要なものを想定している。

(チェック項目 81)

委員：現在でもフロンを使用しているのかどうか教えていただきたい。

事務局：製造は禁止されているが、使用は認められている。

委員：『よく出来ている』の数値は、信憑性のあるデータを用いたほうがよいと考える。

幹事：事務局でご確認いただきたい。

(チェック項目 82)

委員：『よく出来ている』『まずまず出来ている』は新設、建替に絞っており、チェック項目の主旨と合致していないと考える。

委員：既存の倉庫においても、塗装を変更といった工夫はできると考える。

委員：新設、建替を削除した上で、『まずまず出来ている』を一部実施、『よく出来ている』を半数以上で実施という形でいいのではないかと考える。

(チェック項目 83)

委員：『よく出来ている』『まずまず出来ている』の“荷主と”という表現は違和感を覚える。むしろ原案の方がわかりやすい。

幹事：原案に問題があるということではないが、多少字数が多いため、素案のように変更した削除という経緯がある。自部門でできることをやって、そのあと連携した取り組みが必要であるという主旨である。

委員：本項目に関して、物流事業者が主導でできる部分はないと考える。

幹事：物流事業者でもできる部分はあると考える。

委員：“平準化”が必ずしも保管スペースのコンパクト化にはつながらないのではないか。

委員：“平準化”により、仮置スペースの減少につながると考える。

(チェック項目 84)

委員：作業量の平準化になるため、チェック項目 83 と合致することから、削除してはどうかと考える。

(チェック項目 85)

委員：“不動在庫”“不良在庫”の意味を教えていただきたい。

事務局：“不動在庫”は良品だがまったく販売がない商品、“不良在庫”はたとえば量販店等の展示で使用され、販売シーズンが終わって、戻ってきた商品やケース等に傷がある商品と考える。

委員：“滞留在庫”とは異なる意味か教えていただきたい。

幹事：“滞留在庫”はまだ売れる可能性がある印象を持つ。一方で、“不動在庫、不良在庫”は売れる見通しがない意味合いで用いている。

委員：“不動在庫、不良在庫等無駄な在庫を”としたほうが、回答者は理解しやすいと考える。

(チェック項目 (88))

委員：事務局提案どおり削除してはどうか。

(チェック項目 (89))

委員：STARラベルの普及状況について教えていただきたい。

事務局：後ほどの項目でご紹介するが、普及実態の調査すら実施していない状況であることから、本項目は削除したほうがよいと考えている。

(チェック項目 86)

委員：『まずまず出来ている』は割合だけで構成されているが、方針・基準が策定されていなくても、購入だけが行われている可能性もある。

委員：①基準がない、②検討している、③策定した、④策定+購入量が高いという形でよいのではないかと考える。

(チェック項目 22)

委員：『まずまず出来ている』、『よく出来ている』の“物流部門が関与し”はたしかに望ましいことであるが、レベルが高い印象を持つ。

事務局：“物流部門の関与”を促すことよりも、“輸送効率向上と包装資材削減を考慮した製品開発”を促すことが本項目の目的であることから、『まずまず出来ている』、『よく出来ている』の“物流部門が関与し”は削除したい。

(チェック項目 23)

委員：評価軸の“製品アセスメントガイドライン等”を“ガイドライン等”と短縮してはどうかと考える。

事務局：“物流部門の関与”を促すことよりも、“輸送効率向上と包装資材削減を考慮した製品開発”を促すことが本項目の目的であることから、『まずまず出来ている』、『よく出来ている』の“物流部門が関与し”は削除したい。

#### 【決定事項】

- ・チェック項目 74、75、76、80、82、85、86、22、23 の評価軸が確定した（別紙参照）
- ・チェック項目 84、(88)、(89) を削除する。
- ・チェック項目 73、83 については、事務局で原案を作成することとする。
- ・チェック項目 81 については、事務局において、フロンの使用状況がわかるような数値を確認する。

#### 2) グリーンロジスティクスガイドへの掲載について

事務局より、別紙に基づき、第6回企画運営委員会で承認され、2008年1月11日に配布する「グリーンロジスティクスガイド」に、暫定版として現状のチェックリストが掲載されることの説明がなされた。

#### 【主な意見】

幹事：次回の検討でも、チェック項目が大幅に変わる可能性もあるため、細かいものまで掲載しないほうがよいのではないかと考える。

事務局：図表タイトルに暫定版と記載するとともに、注書に“2008年3月に公表予定”とするため、問題ないと考える。

#### 3) 今後の進め方について

第11回分科会については以下のとおりで開催することとなった。

日時：2008年1月25日（金） 16時-18時

会場：JILS 会議室

詳細については、別途事務局から連絡することとなった。

## VII. 閉会

以上をもって全ての議事を終了した。

以上